

『赤土 de ふえすていばる』を知っていますか？

●赤土等の流出

赤土等とは、赤い色をした国頭マージ等の土壌だけでなく、灰色のジャーガル等、赤色系統でない土壌も含めた沖縄県に分布する全ての土壌を指す言葉です。

沖縄県では本土復帰に伴う大規模な開発行為によって、たくさんの赤土等が川や海に流出しました。赤土等の流出は、サンゴ礁生態系や漁業、観光にも悪影響を与えます。赤土等の流出量は、平成7年に施行された沖縄県赤土等流出防止条例により減少しましたが、赤土等の流出は現在も続く大きな環境問題の一つとなっています（写真1）。

赤土等の流出をさらに減らすためには、流出防止対策を行うだけでなく、赤土等流出問題について多くの人に関心を持ってもらうことも大切です。沖縄県では、講習会やイベントなどを通して様々な啓発活動を実施しています。



写真1 赤土等が流出している河川
(平成27年5月撮影)

●『赤土 de ふえすていばる』を知っていますか？

『赤土 de ふえすていばる』※は、赤土等流出の現状とその対策の重要性について理解を深めるとともに、赤土等が育む農作物の恵みを体感できる環境教育を目的としています。沖縄県環境保全課が主催しており、当所の職員もスタッフとして参加しています。

これまでに、平成25、26年度に石垣市で1回ずつ、平成27年度は8月に糸満市で、1月に名護市で開催しました。来場者数は平成25年度が約70

名、26年度が約300名、27年度が合計約1400名の来場がありました。

イベントでは、赤土等流出防止に関する展示や映像教材の上映、体験型の実験やクイズ形式のゲームが行われました。また泥団子づくり、砂絵制作、赤土ボトル制作、赤土キャンドル制作など、地域による赤土等の特色を利用したものづくり体験も行われました（写真2）。

さらに赤土等がもたらす恵みを体感できるブースとして、赤土等で育つ作物や、地元でとれた野菜、その作物を使った商品の展示や販売が行われました。名護市のイベントでは、赤土等流出防止のために植えたソバを使った加工食品の販売も、大宜味村赤土等流出防止対策協議会の協力のもと実施されました。

その他、沖縄の海の生物と触れ合えるタッチプールや赤土等を用いた演示実験など、赤土等流出防止に関する様々な企画が行われました。

次年度も開催が予定されていますので、ぜひ皆さんも『赤土 de ふえすていばる』に参加して、赤土等のもたらす恵みを感じながら、赤土等流出問題について学習してみませんか？

【環境科学班】



写真2 開会挨拶（左）、赤土ボトル（右上）、赤土キャンドル（右下）

※赤土 de ふえすていばる関連のお知らせは、沖縄県環境保全課のホームページに掲載されます。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/>